

# お客さんに喜ばれる良い蜂蜜を作っていていきたい

第3回県はちみつ品評会  
トチ蜜の部 県知事賞 受賞

山本養蜂場 代表

## 山本正信 さん

やまもと・まさのぶ 65歳 曲田横間



左から長男の康裕さん、正信代表、次男の浩之さん

昭和29年生まれ。安代町役場と八幡平市役所に通算42年勤務し、平成27年3月に定年退職。現在は父から家業を継ぎ、山本養蜂場を経営している。妻と母、次男の4人で暮らし、長男は滝沢市から通う。現在の楽しみは毎日の晩酌。

昨年の12月7日にアイーナで開かれた第3回県はちみつ品評会のトチ蜜の部で、山本養蜂場代表の山本正信さんが県知事賞に輝いた。「優勝はまさかと思った。高く評価されたことがうれしい」と笑顔を浮かべる。

市役所に勤務していた51歳の頃、山本養蜂場を営んでいた父が病気で倒れた。まだ大学生だった康裕さんとすでに就職していた浩之さんが養蜂業に就く決心をしたことがきっかけで、父から家業を継いだ。

養蜂業は、ミツバチの巣箱の清掃や採蜜、天敵であるスズメバチの駆除、ダニ防除用の薬剤散布のほか、寒さに弱い蜜蜂を越冬させるため茨城県へ巣箱を移し、約半年間は定期的に通って管理するなど、その業務は多岐にわたる。息子2人が中心となり取り組

んできたが、当初は養蜂技術が分からなかった。冬越しに必要な餌の管理や、ダニ防除に失敗し、ミツバチを全滅させたこともある。「失敗を繰り返して落ち込むこともあったが、それを糧にして技術を高めてきた」と今までの苦労を振り返る。

春になると、採蜜をする繁忙期を迎える。「お客さんからおいしいと言葉を掛けられることがうれしく、励みにもなる。今後もお客さんに喜ばれる蜂蜜を販売していきたい」と意欲を燃やす。



自然豊かな養蜂場で採蜜された天然はちみつ商品  
【山本養蜂場】  
八幡平市曲田16-2 ☎ 72-3542

### 編集後記

▽話題ピックアップで取り上げました「教育研究発表会」取材しました。個人的にも興味があつて取材してみたものです。先生方が一堂に会して学ぶ姿は、なかなか見ることができないし、研究内容にも触れることができて良い経験になりました。これからも、こういった一般の人が目にするのでできない出来事も取り上げていきたいと思っています。

▽キラリ輝人の山本さんを取材。それまで養蜂業のことはほとんど知りませんでした。作業内容は記事に書いたこと以外にもたくさんあり、蜂を守るために労力のかかる仕事でした。生き物を育てることは大変なこと。愛情を込めて蜂の世話をすることで、高品質の蜂蜜ができるんだなと思いました。山本養蜂場の蜂蜜は、道の駅にしねや松尾八幡平物産館あすびーで販売されています。ウェブサイトからも購入することができます。お勧めの蜂蜜の食べ方なども紹介されています。

▽市公式ホームページを約10年ぶりにリニューアルしました。ピジュアルはもちろん、アクセシビリティ、ユーザビリティの向上を図ったりリニューアルとなっています。これまでと大きく変わったので、慣れていた人には見にくいかもしれませんが、新しい機能や今までになかった表示もあるので、うまく活用して、見やすいサイトにしていきたいと思っています。▽2019年度岩手県市町村広報コンクール一枚写真の部で、2月号(1年前)表紙の犬ゾリの写真が2位に選ばれました。改めて、撮影に協力してくれた皆さん、ありがとうございました。